



あうんの呼吸

あうんの呼吸とは、気持ちが一致していること、心の通じ合った関係という意味から、お客様とスタッフで心をつなげて、ご満足いただける住みよい家作りをしていくという気持ちを込めました。

<今月のトピック>

☆リフォーム施行例

☆失敗しないインテリアカラーの選び方

VOL27

(株)あうん工房

902-0066

沖縄県那覇市大道90-4

通話料無料の
フリーダイヤル

ナツノ ヨイ コウジ
0120-72-4152

2世帯住宅リフォームのBEFORE-AFTERをご紹介します。

S邸。1階部分は親御世帯に2階部分は子世帯となっています。浴室は1階部分に2室作り、キッチン、トイレは各世帯へ作りました。

今回は、1階部分親世帯をご紹介します。

ほぼ骨組みだけを残し、間取りも大幅に変更しました。

バリアフリーにし、シンプルで使い勝手の良いお部屋に変身しました～♪

リフォーム施行例

BEFORE

AFTER

親世帯は一人なのでコンパクトなキッチンにして、お部屋をすっきり(^^♪



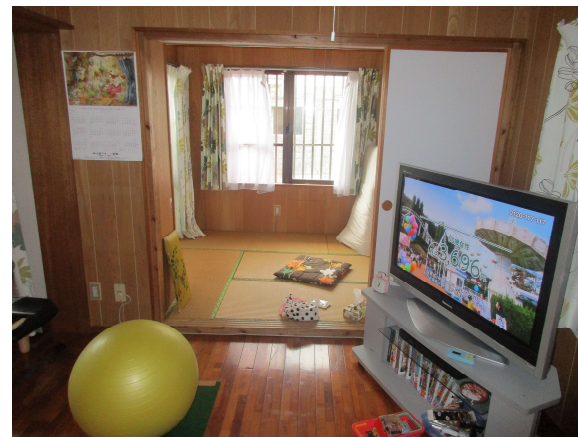
BEFORE

AFTER

大幅な間取り変更をしているので写真では少しわかりにくいですがね



BEFORE



AFTER



くつろげる和室は残して畳を新調しています。

BEFORE



AFTER



クローゼットを造作し、収納も確保しました。

BEFORE



AFTER



水廻りが新しいと気持ちいいですね(*^-^*)



失敗しないインテリアカラーの選び方

気に入った家具を買ったのに、いざお部屋に配置してみると「なんか違う・・・」とかお気に入りの雑貨を飾っていても、こちゃこちゃしていて統一感がないとか、結構あります。こんな「なんか違う・・・」という印象を紐解くと、実は配色の失敗が多いのです。色が心理に与える印象はとても大きいので、家具のように面積の大きいものが、チグハグな配色になると、とても気持ち悪くなってしまいます。でも、逆に言うと配色にさえ気を付ければ、お部屋づくりの失敗は一気に減ります。

今回は、そんな配色の基本をお伝えしていきたいと思います。

色相環を使って、「同系色」と「補色」の関係を知りましょう。

色同士の関係性は、右図のような「色相環」で表します。この「色相環」を見れば、それぞれの色の相性が一目でわかります。

相性の良い関係の一つ目は「同系色」。

これは隣り合った同士のことを指し、一つの空間にあっても、いい感じに見えます。

もう一つは「補色」。

これは円の反対側の色を指し、1つの空間の中でもそれぞれがお互いを引き立てあって、これまた、いい感じに見えます。

インテリアの配色で意識したいのは、この「同系色」と「補色」のどちらか、もしくは両方を使うことだけです。

家具配色は「トーン分類図」の色相環がおすすめです

上図の色相環は、もっともベーシックなものですが、とは言っても上の色相環みたいにビビッドなものだと、インテリアの配色では使いづらいものです。

そこで、家具の配色の時には、右図のような「トーン分類図」に基づいた色相環を用います。

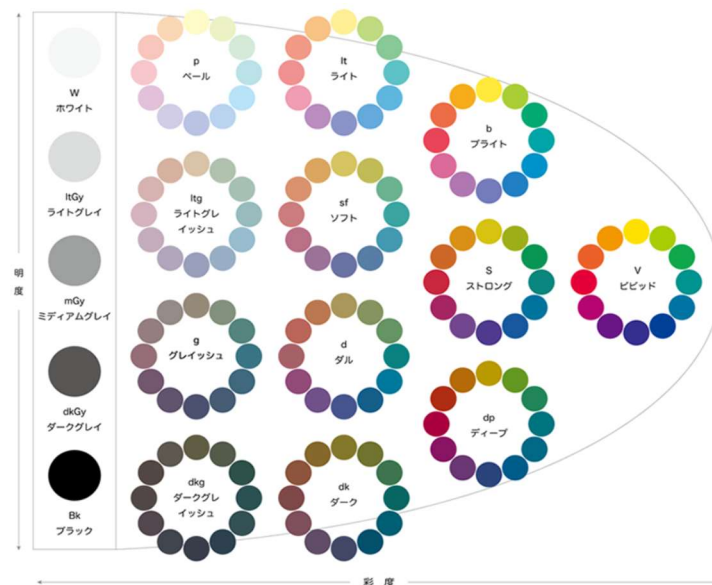
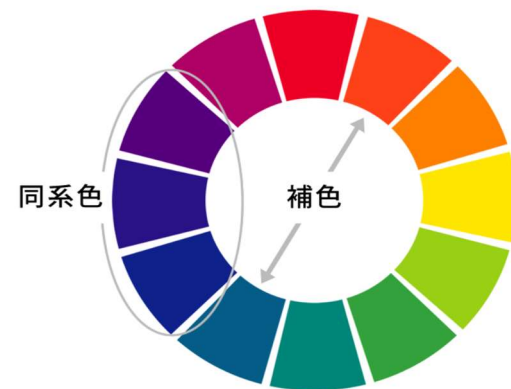
カラーコーディネートの基本色の配分を知っておこう！

☆ベースカラー

インテリアのベースとなる床、壁、天井の色を指します。全体に占めるバランスは70%程度と部屋の中で一番広い部分です。価格も高く替えにくい部分なので、アイボリーやベージュ、茶色などが無難です。)

☆メインカラー

ソファや家具全般、カーテン、ラグなど、インテリアの主役になる部分を指します。全体に占める割合は、25パーセント程度で、部屋の目的に合う色の中で一番好きな色を



選びましょう。家具が茶色でカーテンは緑など色数が増えやすいですが、色味のある色は3種類までに抑えるかトーンを統一しましょう。

☆アクセントカラー

クッションやランプシェード、絵画など小物類の色を指します。分量は全体の5%と小さめですが、インテリアのポイントとなり、空間の引き締め役になる色です。ベースカラーやメインカラーに溶け込まないようメリハリがつくようにバランスを見て選びましょう。ビビットな色、鮮やかな色を選ぶと空間を引き締めることができます。一番費用がかからない場所でもあるので、気分や季節に合わせていろいろな色に挑戦したり、思い切った色や柄で遊び心を加えてみてもGOODです♪

基本の組み合わせパターン

☆同色系・・・同じ色相で明度、彩度の違う色を組み合わせるパターン。取り入れやすく誰でも簡単にコーディネートできます。濃淡の使い分けがコツです。

☆反対色・・・色相環で向かい合っている色で組み合わせるパターン。互いの色が鮮やか過ぎると刺激的すぎる場合があるため明度や彩度を下げることで落ち着いた雰囲気を出し出すことができます。

☆類似色

似た色相を組み合わせるパターン。無難ですが分量を調整してテーマ色を決めておくと○。

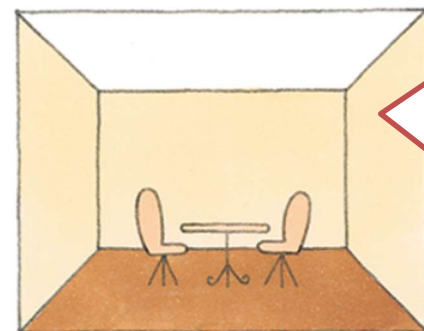
☆同一トーン

色相が違うが同じ彩度でまとめるパターン。たくさん色味を使っても、パステルカラーなどで彩度をまとめるとスッキリしてGOOD！

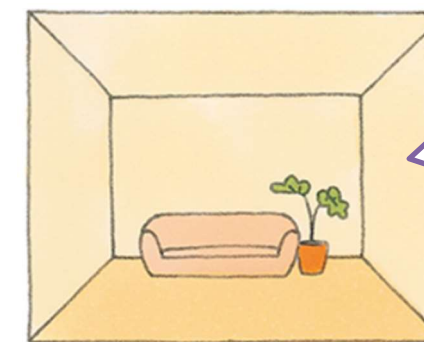
色を与える広さの感覚について知っておこう！

面積の広いベースカラーやメインカラーにどんな色を使うかによって部屋が広く見えたり狭く見えたりします。ベースカラーの場合、天井と壁は色の明度が高いほど天井は高く部屋も広く見えます。賃貸住宅の天井と壁が白いのは、この効果を狙っているからです。

明るい色と暗い色は広さの印象も変える

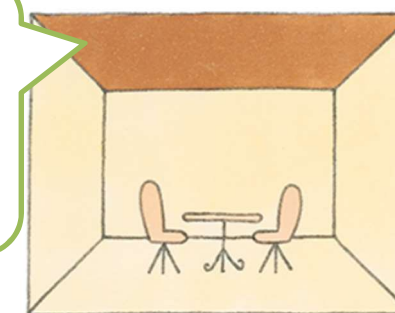


床→壁→天井の順に明るい色を選ぶと天井が高く広々した部屋に見えます。天井と壁は同じ色でもOK。



明るい床を選べば狭い部屋でも広く感じます。

落ち着き感が欲しい寝室などはあえて暗めの天井にしても。



濃い色の床は落ち着き感がありますが、狭くて暗い印象も。暗い床に白木の家具を置くと軽々しく見えるので避けて。

